

農学(一般)



農林水産部 農林政策課
企画・広報班
技師 長井 拓生

経歴：採用7年目

- H31年 農林水産部 農林政策課
企画・広報班
- H29年 秋田地域振興局 農林部
農業振興普及課
担い手・経営班
- H26年 入庁
仙北地域振興局 農林部
農業振興普及課
産地・普及班

ある日のスケジュール

- 8:10 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック、
各種新聞記事のチェック
- 9:00 ホームページ掲載情報の更新
- 11:00 各種照会の回答作成
- 12:00 昼食
- 13:00 統計データの取りまとめ
(農業産出額、農林業センサス等)
- 15:00 部内各課への調査依頼作業
- 16:00 部内幹部職員の下週の週間
行事予定表の作成・配布
- 17:00 翌日のスケジュール確認
- 17:15 退庁
- 18:15 家族と食事
- 19:00 子供とお風呂
- 20:00 子供の寝かしつけ
- 21:00 家事
- 23:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

農林政策課では、農林水産部全体の連絡調整など農林水産業全般に関わる幅広い業務を行っており、部内の司令塔のような存在です。部内の庶務一般やサービスを管理する「総務班」、予算を管理する「経理班」、部の施策に関する企画・調整や、“ふるさと秋田元気創造プラン”の進行管理、広報・広聴に関する業務を行う「企画・広報班」、試験研究分野の統括や研究課題の進行管理を行う「研究推進班」、農業法人・新規就農者の育成や担い手への農地集積を推進する「担い手支援班」、国有農地の管理や農業振興地域に関する計画・整備を行う「農地・管理班」から構成されます。

わたしは今、こんな仕事をしています

「企画・広報班」に所属し、主に広報や情報発信、統計の取りまとめに関する業務を担当しています。具体的には、農業に関する支援制度や農産物の生育状況など、農業者をはじめとする県民に対してホームページ等を通じて情報を発信するほか、統計資料などを分析し、秋田県の現状を把握する仕事を行っています。

県民に情報を正確にお届けする責任のある仕事で、常に農業者や県民の目線を意識するよう心がけています。

秋田県のここが好き！

四季折々の楽しさがあるところです。春は畑に種をまき、夏はBBQやキャンプ、秋は野菜を収穫し、冬はスキーや温泉など、シーズンを通して雄大な自然の中でレジャーを楽しむことができます。

農学(一般)職のやりがい(楽しさ)はここ！

農学(一般)職は、施策や予算を組み立てる「農林行政」、現場の指導を行う「普及指導」、新技術や品種の開発を行う「試験研究」からなり、各分野が連携し秋田県農業を支えています。農業は、天候の影響を受けやすく、日々状況が変化するため、現場の状況をいち早く察知して農業者を指導したり、支援策を打ち出します。簡単な仕事ではありませんが、その分やり遂げた時の達成感は大きく、農業者の喜ぶ姿を見た時には、とてもやりがいを感じます。農林水産業は秋田県の基幹産業であり、県の発展に直結する分野です。県民からの注目度も高く、責任感を持って仕事に取り組んでいます。

入庁してから、何か大変だったことはありますか？

非農家出身のため、農業経験も無い中で農業者どのように接すれば良いか悩みました。そこで、「若いうちなら初歩的なことを聞いても許される！」と考え、先輩から栽培技術について教わったり、現場では恥を捨てて質問するなど積極的に行動しました。私のように非農家で不安な方も多いと思いますが、経験豊富な先輩から助言をいただけるので、安心して仕事に取り組むことができている。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

教養試験は、得意分野を重点的に勉強し、確実に点が取れるように、専門試験は市販の参考書や国家公務員試験の過去問題、「食料・農業・農村白書(農林水産省)」を中心に勉強しました。面接試験には、「ふるさと秋田元気創造プラン」や「ふるさと秋田農林水産ビジョン」を読み込んで、県が進もうとしている方向性を理解し、県の課題を解決するためには何が必要かを自分なりに整理して臨みました。また、農業の専門新聞を毎日チェックし、時事ニュースを広く収集しました。地元紙に目を通すことも重要だと思っています。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、一言！

秋田県庁は、「秋田のために頑張りたい」という皆さんの想いを実現する絶好の場です。

私たちと一緒に元気な秋田を創っていきましょう。



仙北地域振興局 農林部
農業振興普及課 産地・普及班
技師 宇佐美 早紀

経歴：採用2年目

H31年 入庁
仙北地域振興局 農林部
農業振興普及課 産地・普及班
H26年 民間企業勤務

ある日のスケジュール

8:10 出勤
8:30 朝礼、メールチェック
9:00 講習会資料の確認
9:30 関係機関との巡回等打合せ
10:00 現地巡回
(生育状況確認、指導)
12:00 昼食
13:30 移動、講習会
15:00 業務報告、
病虫害防除案の作成
16:00 調査結果とりまとめ等の
事務作業
16:45 巡回、調査結果等の
チーム打合せ
17:30 退庁
19:00 社会人フットサル
21:30 帰宅
23:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

農業振興普及課は、生産者に対して各種補助事業の活用支援や農業経営基盤強化等を担当する「企画・振興班」と、野菜・作物・果樹・花き等の生産振興や6次産業化へのサポートを行う「産地・普及班」、新規就農者の確保・育成や農業法人の経営支援を行う「担い手・経営班」の3班で構成され、幅広い業務を担っています。

職場の雰囲気は明るく、一人一人の個性が輝いています。また、やさしい上司や先輩が多く、業務の知識やアドバイス等をいただき、とても心強いです。

わたしは今、こんな仕事をしています

「産地・普及班」に所属しています。主に野菜栽培に関する生産振興を担当しており、生産者のほ場を訪問して、生育や病害虫の発生状況の確認、指導を行っています。また、定期的に講習会や出荷される野菜の目揃い会を実施し、消費者に喜ばれる野菜づくりの支援も行っています。

今年度は、農業試験場と連携し、新規除草剤の効果確認や、えだまめの新型収穫機械の現地実証に取り組みました。

秋田県のここが好き！

雪国ならではの甘みの乗った雪中野菜や、他県にはない深い味わいのある伝統野菜があるところです。

また、味の乗った野菜に合う、のどごしのいい日本酒が数多くあるところも魅力的です。

農学(一般)職のやりがい(楽しさ)はここ！

農業者と距離が近く、現場の声や生育状況を直接知ることができます。農業は、その年の気象や地域によっても栽培方法が異なり、日々の状況変化に対応する難しさもありますが、上司や農業試験場の研究員から助言をいただき、生産現場で指導した対策技術が農業者の収益につながり、笑顔が見られた時は自分のことのように嬉しく思い、やりがいを感じます。

オフは何をしていますか？

社会人フットサルチームに所属し活動しています。日々の練習で徐々にできる技が広がり、ボールを繋げられるようになりました。試合では、声をかけ合いボールを繋ぎ、シュートが決まった時はチームの仲間と喜びを分かち合います。

秋田県庁を就職先(勤務先)に選んだ決め手は？

前職で農産物の販売に携わった時、そこに自ら栽培した野菜が完売し、満面の笑顔で喜ぶ農家さんの姿がありました。

農業者の栽培管理のサポートや栽培研究を通して、丹精込めて作った農産物を県内外の方に届けるための橋渡しをしたいと思い志望しました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

何度でも挑戦する気持ちを大切にしてほしいと思います。この分野で相手のために、そして、秋田県のために全力でサポートしたいという想いを胸に、ぜひ私たちと一緒に秋田県を盛り上げていきましょう。

今まで取り組んできた経験や関わってきた方々へ感謝の心を大切に、時にはリフレッシュしながら自分の目標に向かい進んでください。